（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスりーる			
○保護者評価実施期間	２０２５（令和７）年３月５日		～	２０２５（令和７）年３月３１日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	24	（回答者数）	17
○従業者評価実施期間	２０２５（令和７）年３月５日		～	２０２５（令和７）年３月３１日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7	（回答者数）	5
○事業者向け自己評価表作成日	２０２５（令和７）年５月３０日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様や保護者様のニーズや思いに寄り添い、個別支援計画や日々の療育に反映させるていること。	利用日の活動の様子を「HUGアプリや動画を用いる」など、保護者と情報を共有しながら、子どもの発達や様子についての理解を深めてもらう工夫をしている。	お子様や保護者様の声を反映したプログラムやイベントを企画・運営する。
2	職員同士の連携をこまめに取り、様々な大人の視点で子どもの姿をとらえている。また、社内研修や自治体の研修会に参加し、職員一人ひとりの資質向上に努めていること。	支援開始前や終了後の職員間の打合せや振り返りを頻繁に行い、「こどもや家族の希望や課題に基づいた支援内容になっているか」を確認している。	職員それぞれが研修や資格取得等の自己研鑽目標を設定し、個々の資質向上意欲を高める。
3	清掃や換気など、お子様が安心して過ごせる環境づくりをしっかり行っていること。	毎日の清掃に加え、気づいたところを都度掃除し、こまめな消毒を行っている。	お子様に対しても衛生面の意識向上を促すための活動や遊びを取り入れ、自己管理の力を育てる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	広々とした活動スペースが足りていないこと。	継続して通っている子が多く、お子様の体が大きくなってきている。	学習は部屋を分けたり、本社の学習室やプールなどを使ったりして１つの場所にいる人数が多くならないようにする。
2	保護者様と直接顔を合わす機会が少ないこと。	保護者様と顔を合わせる機会として送迎があるが、お子様は早く家に入りたいという気持ちが強かったり、車内に他のお子様を待たせたりと短時間での申し送りになっている。	保護者やきょうだいが参加できるイベントを開催する。また、帰りはできるだけ事業所にお迎えに来ていただくようにし、事業所でのお子様の様子を見ていただきながら情報共有ができるようにする。
3	家族支援プログラムや保護者会への参加人数が少ないこと。	HUGアプリのみのお知らせになることがあり、ご家庭への周知できていない。	HUGアプリだけでなく、面談や送迎時など直接お会いしたときにも声をかけるようにする。

保護者等向け　放課後等デイサービス評価表

公表日：２０２５（令和７）年５月３０日

事業所名：放課後等デイサービス　放課後等デイサービス　りーる　　対象人数（保護者）24人　回答者数 17人　回収 70.8%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	1	1			指導訓練室だけでなく、庭や本社にあるプール、ICT機器を使う学習室でも活動しています。また、屋外でのウォーキング活動も取り入れています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1		3		多様な活動に目が届く支援を行うために、基準よりも多く人員を配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	3		2	・現在トイレトレーニングの指導もお願いしておりますが、トイレットペーパーの位置が適切なのか(子供の手届く場所に設置しているか)確認をお願いします。	怪我防止のため、角にはクッションカバーを付けています。 トイレットペーパーの位置は、子どもの手の届く場所に設置しています。 トイレトレーニング中のお子さまには職員が付いてサポートしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	1		1	・子供達が使いやすいように棚や引き出しは整えられていると思いました。お部屋全体は季節に応じたイベント飾りや写真が貼られていて気持ちを明るくしてくれます。我が子を迎えに伺った際は、明るい空間に包まれて安心します。	毎日の清掃、消毒を徹底して行っています。 季節に応じた壁画で、明るい空間を心がけています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17				・この項目に関しては、親子でご支援、ご相談を常にさせて頂いております。良き理解者、安心できる信頼する大人(家族以外)が身近にいる、常に寄り添っていて下さる。きめ細やかな対応がなされていると思います。	保護者様とHUGや電話等で情報共有をしています。 職員の専門性を高めるために、法人内だけでなく社外とも連携した研修を実施しています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17				・定期的に送られてきます月刊プログラムを拝見し、子供たちに無理のないように楽しく活動できるように配慮されていると思います。	支援プログラムに基づいて活動を行っています。支援プログラムは、ホームページにて公表しています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17				・長いスタンスではあります。丁寧なご指導、ご支援の下、子供達に出来ることへの"自信"へと繋げてくださっています。プロセスを大事に見守ってくれています。	子どもたち一人ひとりに応じた計画書を作成しています。 お子様の支援に必要な項目を適切に設定し、支援を行うように心がけています。
	8	放課後等デイサービス計画（個別支援計画）には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	1		2	・この項目に関しては大体は理解しておりますが、専門性があり、もう少し噛み砕いて解りやすく文書作成して頂けると有り難く思います。改めて拝読させて頂いた上で意見させて頂きます。	
	9	放課後等デイサービス計画（個別支援計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	17					子どもたちが「できた」を自信に繋げていけるように計画書に基づいた支援を行っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1			・個々の子供たちの利用状況や支援体制にもよるとは思いますが、楽しく活動できる配慮は充分になされていると思います。	ICT活動やプール活動、サーキット運動などを取り入れています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	2	2	4	・交流、地域や、他の子どもとの関わりが分からない。 ・学童さんや、高齢者向けデイサービスの方々との交流を楽しんでいます。	夏休みはVI-VA学童とのドッチビー大会、１２月には他事業所との合同運動会で交流を行いました。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16			1	・長い付き合いになりますので忘れていますが、改訂版契約書は保存しています。	契約時にお伝えしています。ご不明な事があれば、いつでもご連絡ください。
	13	放課後等デイサービス計画（個別支援計画）を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	1	1	1	・メールでのやり取りになってからは、示しながらの説明はありません。 ※一年に一度は個別支援計画案を指し示し、双方の理解確認説明をする機会を設けること。必須項目として頂きたいと思います。	現在、保護者様とのアセスメントやモニタリングでの情報共有を基に計画書を作成し、HUG上で確認していただいております。変更点や修正などその都度承っています。対面での説明をご希望の場合には、ご連絡ください。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	3	2	1	・今後は更に必要不可欠な項目になるのではないでしょうか。	今年度は、１１月に作業療法士による「親子あそび教室」を保護者様と職員の合同研修会として開催しました。今後も、テーマを変えながら研修会を実施します。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	17					細やかな情報共有を心がけています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	2		2	・そうなってからご相談はしております。ですが、定期的な個別面談は必要です。	面談や支援会議、電話等で保護者様と子育てについてお話しています。何かありましたら、いつでもご連絡ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16			1	・送迎を利用させて頂いておりますが、活動支援者と送迎者は違います。以前より顔合わせが少なくなりました。時には不安になる事もあります。	お子様一人ひとりを大切にした支援を心がけていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	3	1	4	・少ないと思います。無いかもしれません。一年に幾つかの時期を設定して頂きたいと思います。参加できる配慮も必要だと思います。保護者交流会は必須項目です。	９月「親子ハイキング」・１１月「親子あそび教室」を開催し、多くの保護者様やきょうだいに参加していただきました。イベントの後には、保護者交流の場も設けています。ぜひ、ご参加ください。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16			1	・こどものメンタルや発言などに応じて個室で静かな場所に移し話を聴くなどの対応をしてくれて非常に助かっています。	迅速に対応するようにしています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17					情報を共有し、思いに寄り添えるよう心掛けています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17				・日々の活動の様子をメッセージし写真や動画を送って頂いております。見ながら自身の励みにして仕事を頑張っています。 ・ＨＵＧで届く日々の活動記録に、ほぼ毎日のように写真が届いたり、動画を送ってきてくれたりしています。非常に安心している顔、リラックス出来ている様子が伺えます。	日々、LINEやHUGを通して写真やその日の様子を伝えています。ホームページやりーるだより、インスタグラムも活用しながら、情報を発信しています。 自己評価の結果は、ホームページに掲載しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16			1		十分に配慮しています。個人情報については、鍵付きの書庫にて保管しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1		3		各マニュアルを策定し、警察の方にご協力・ご指導いただき、不審者対応訓練を全職員で行いました。消防署では、救命救急訓練を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1		4		お子様の避難訓練等も活動の一環として取り入れています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1		2	・帰りの送迎バスの件で、支援体制に憤りを感じて、総括責任者と話しましたが、バスの人数は(運転手以外)同乗させることは無いと回答されています。何かしらの事故があった時に現状は変わるのだと判断しました。要するに人材不足でしょうか。今は目を瞑るしかありません。	お子様の安心・安全を念頭に日々の業務に全職員があたるよう始業前の打ち合わせでの確認、定期的な事故防止研修を行っています。 一人ひとりにきめ細かい支援をするためサービス提供時間に多くの職員を配置しています。その反面、帰りの送迎を担当できる職員が限られている現状があります。そのため、保護者様の皆様にお迎えのご協力をお願いしています。 お迎え時に、事業所にいるお子様の様子を見ていただき、職員が保護者様と直接顔を合わせて情報共有をするようにしています。 今後も十分に安全を確保するため、保護者様と連携しながら体制を整えていきます。ご理解とご協力のほどよろしくお願いします。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16		1			速やかな連絡を心がけています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	17				・困った事があると、きちんと先生方に伝えることが出来ており、それを夕方LINEやお電話で詳細を伝えてくれ、すぐに学校側等とも共有出来ています。	一人ひとりの思いに寄り添いながら、色々な事に挑戦し、困った事を伝え安心して楽しく過ごしてもらえるよう、サポートしています。 お子様が、安心できる環境を整えていきたいと思います。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	1		1	・体を動かす事が多く、イベントで外出する事が多いので、毎回『体験』を通じた出来事を話をしてくれます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	1			・日々の活動や様子を細やかにお伝えしていただき、また様々な活動や学習面も個々に応じて対応していただき大変満足しております。我が子もいつも楽しく通う事が出来て親としてもとても安心しております。有難うございます。 ・本人も毎週利用を楽しみにしています。先生方が熱心なうえ惜しみない愛情を日々感じます。りーるの先生方に出会え幸せです✨	

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス　りーる

公表日　２０２５（令和７）年５月３０日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	3	・学習は部屋を分けたり、ICT教室へ行き、遊びや活動は室内や庭遊び、外遊びを取り入れている。	・広々としたスペースが必要だと思う。 ・庭など外でも遊べる環境だと良いかなと思う。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3	2	・職員が急な休みになった場合は、他の職員のシフトを調整している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	・見渡せる範囲で活動ができている。 ・怪我をしないように、ぶつかり防止クッションを利用している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・毎日の清掃に加え、各々気付いたところを都度掃除するように心がけている。 ・毎日こまめに掃除や消毒をしていて、空気清浄機など活用しています。窓を開けて換気も心がけています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・音や光が気になる時や気持ちの切り替えが必要な場合は、個室では壁に向かう机・マットなどを利用している。 ・体調不良や感情のコントロールが厳しい時は、事務室で過ごしてもらっている。 ・勉強部屋を確保している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・保護者様からの意見　要望を共有している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1		・ミーティングをしていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・社内研修をしたり、外部の専門講師を招いた研修をしたりして資質の向上を図っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・相談員さんよりサービス等利用計画書を踏まえ、保護者とのやり取りの上、作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・児童発達支援管理責任者が多くの職員からお子様の情報を聞き取っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	5		・計画書をいつでも確認できるようにしている。	・気になる点について話し合い、計画に沿っているか確認する必要がある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	2		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・日々の活動やイベントについて話し合い、決めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・色々な活動に参加できるように考えている。 ・苦手なプログラムも楽しく参加できるように工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		・少人数での活動、集団での活動を分けたり、興味の合うこども達で活動を楽しむ場面があったりする。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・送迎やスケジュール、お子様の様子等を話している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	4	1	・その日の様子やヒヤリハット等をふりかえり、日報に記入している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・サービス提供票に記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1		・全員に自己決定をさせることに厳しさを感じている。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・児童発達支援管理責任者が参加している。	

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		・保護者より年間計画のコピーを頂いたり下校時間の変更や休みをＨＵＧやLINEを用いてやり取りしたりしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		・児童発達支援事業所と情報共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		・卒業前に会議を行い、特性や強みを伝えている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	2	3	南風原町主催の「児童期における支援提供の基本姿勢」研修会に参加した。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	・他事業所と運動会をしたり、VI-VA学童さんと定期的に交流をしている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	・「南風原町障害者週間実行委員会」主催のイベントに参加した。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・利用日の活動をHUGで伝えたり、お子様の様子を動画で見せて成長を共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	4	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	2	・９月「親子ハイキング」、１１月「親子あそび教室」を開催し、多くの保護者様やきょうだいに参加していただきました。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	・スイミングスクールと合同で利用者様や地域の方を招待し、イベントを開催した。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・利用しているお子様の通学している学校のマチコミアプリを取り、情報を共有し災害等に備えている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	5			・災害の時など色々想定し、的確に保護者とやり取りが出来るよう工夫する。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			